平成22年度決算に係る

 定
 期
 監
 查

 調
 書

 決
 算
 審
 查

平成 23 年 8 月

企画部男女共同参画推進課

目

1	前年	度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1)	指摘事項	
	(2)	監査意見	
		決算審査意見	
2		度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3		8及び業務調べ	1
4		の定員、現員調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
5		職員の調べ	1
6		事業に関する調べ	2
7		[調書(総括表)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
8		別実施状況調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
9		i費の充用調べ······	8
10	繰越	関係調べ	8
	(1)	継続費逓次繰越調べ	
	(2)	繰越明許費調べ	
	(3)	事故繰越調べ	
11		証紙取扱額調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
12	収入	事務処理状況調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
	(1)	分担金及び負担金	
	(2)	使用料	
	(3)	手数料	
	(4)	財産収入	
	(5)	寄付金	
	(6)	諸収入	
	(7)	現金の取扱状況	
13		収入未済額調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
14	未収	金回収促進のための取り組み状況調べ	9
15		収入不納欠損額調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
16	債務	負担行為の状況調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
17	負担	!金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	9
	(1)	負担金	
	(2)	補助金	
	(2-2)	補助金(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	
	(3)	交付金	
	(4)	委託料	
	(4-2)	委託料(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	
18	工事	請負費調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 1
18-	-2 エ	事請負費調べ(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	1 1
19	財産	に関する調べ	1 2
	(1)	公有財産	
	(2)	金券類の受払状況	
	(3)	基金	
	(4)	債権	
20	財産	の貸付及び使用許可調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	(1)	土地及び建物	
	(2)	物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)	

21	借受不動産明細調ベ13
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ
23	自動車 (二輪を除く) の管理状況調べ
24	寄附物件の受納状況調べ
25	備品の処分状況調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
27	貸付金等状況調べ
	(1) 総括表
	(2) 償還状況
0	意見、要望等

## 1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1)指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし
- (3)決算審査意見 該当なし
- 2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況 該当なし

## 3 組織及び業務調べ

課名	係(担 当)名	課 の 主 な 所 掌	事務
男女共同参画 推進課	企画担当	日女共同参画社会の実現のたる 目整及び推進に関すること 日女の労働環境の整備及びワー よの推進に関すること(他課の よく)。 日女共同参画センターに関する	- ク・ライフ・バラン 所掌に関するものを
		司和対策課と共管)	

## 4 職員の定員、現員調べ

種別			事務	職員		;	技術	職員		現業	職員			合	計	備	考
区分		23.		22. 4		23.		22. 4. 1			22. 4.		23. 4		22. 4. 1	this	٠,٠
		現	在	現	在	現	在	現在	現	在	現	在	現	在	現在		
定	員	4	ļ	4		_	-	_	-	-	_		4		4		
現	員	4	ļ-	4		_	-	_	_	-	_		4		4		
過不足(Δ	7)	C	)	0		_	-	_	_	-	-		0		0		
臨時職	員	_	-	_		_	-	_	_	-	-		_		_		
非常勤職	員	4	ļ	5		_	-	_	_	-	_		4		5	一般事務2名 緊急雇用2名	7

## 5 役付職員の調べ

(平成23年8月1日現在)

職名	氏 名	在職期間	備   考
		年 月	
課長	宮城 絵理	1 4	
企画員	古田(慎一	3 4	

## 6 主な事業に関する調べ

事 業 名

概

要

男 女 共 同 参 画 技 進企業認定事業

#### 決算額

4,523千円

#### (財源内訳)

#### 一般財源

4.523千円

# ○将来ビジョン V 支 え 合 う

(のれ個揮「地ゆ豊男)権でにされた。性でにはいるか女人尊ぞれた会が職こ暮にとは、場ろらら参いでいる。 とこれが、 はいのでいる。

会工

## 男 女 共 同 参 画 推 ア 目的及び事業の実施状況

# (ア)目的

男女ともに働きやすく、能力が発揮できる職場環境づくりに積極的に取り組む企業を「鳥取県男女共同参画推進企業」として認定し、当該取組を広く紹介することにより、県内企業における男女共同参画の普及推進を図る。

#### (イ) 事業の実施状況

#### ①認定状況等

- ・認定委員会の開催 5回(委員5名)
- ・認定企業数 (新規) 176社(累計398社(うち廃業等20社))(更新) 38社
- ②「鳥取県うれしい職場ささえる大賞」の実施

認定企業の中から、特に意欲的な取組を推進している企業を選定の上、「倉吉 発ワーク・ライフ・バランスシンポジウム2010」において表彰した。

- 表彰日 平成22年10月27日
- •会 場 倉吉未来中心
- 表彰企業

区分	事業所名	所在地	業種
最優秀賞	社会医療法人明和会医療福祉センター	鳥取市	医療、福祉
優 秀 賞	有限会社みたこ土建	米子市	建設業
	社会福祉法人鳥取県厚生事業団	鳥取市	医療、福祉
奨 励 賞	株式会社竹内組	八頭町	建設業
	アサヒコンサルタント株式会社	鳥取市	技術サービス業
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会	鳥取市	医療、福祉

#### ③情報誌の作成

平成21年度以前に認定した企業の取組内容・効果を掲載した情報誌「鳥取県 男女共同参画推進認定企業紹介」を作成し、広く県民へ紹介した。

- ・作成時期 平成22年9月(年1回、作成部数12.000部)
- ・配布先 高等学校、専修学校、専門学校、大学、ハローワーク、商工団体、 労働者団体、認定企業、商工団体会員企業、市町村、シンポジウム・研修会等の参加者 など
- イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

男女共同参画推進課、中・西部総合事務所に「男女共同参画推進サポーター」 (緊急雇用創出事業を活用し、各1名)を配置の上、関係機関と連携を図りつつ 個別企業を訪問し、認定制度の周知や申請に向けたきめ細かな働きかけ・サポートを行った。

## ウ成果

新規認定件数が176件と大幅に増加し、幅広い業種から申請があるなど 県内企業における男女共同参画の取組に繋げるとともに、全市町村へ認定企 業の普及を図ることができた。

### (認定件数の推移)

認定年度	H18	H19	H20	H21	H22
認定件数	118件	38件	28件	21件	176件

## 工課題

- ・平成23年度末をもって緊急雇用創出事業が終了するため、24年度以降、企業に対して制度の普及促進を図るための人的体制を確保することができなくなる。
- ・認定企業が社会的に評価される環境づくりやインセンティブの付与等、企業の 自主的な認定取得を促進するための仕組みづくりについて検討を行う必要があ る。

事 業 名 概 要 ワーク・ライフ・ア 目的及び事業の実施状況 バランス推進事 (ア)目的 すべての人がやりがいや充実感を感じながら働き、人生の各段階に応じて多様な生き方を 選択できる社会を実現するため、庁内関係課、企業、商工団体等と連携し、地域に根ざした 決算額 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の取組を推進する。 1.404千円 (イ) 事業の実施状況 (財源内訳) ①ワーク・ライフ・バランスシンポジウムの開催 一般財源 企業をはじめ広く県民に対し、ワーク・ライフ・バランスの推進についての理解や関心を 1.404千円 喚起するため、実行委員会を組織しシンポジウムを開催した。 開催日 平成22年10月27日(水) 〇将来ビジョン 会場 倉吉未来中心 Ⅴ支え合う 参加者 約200名 内容 トークショー (1) 一人ひとり の人権が尊重さ 第2回鳥取県うれしい職場ささえる大賞表彰式、分科会 れ、「それぞれの ② 「わたしの・わが家のワーク・ライフ・バランス」 取組募集 個性と能力が発 県民から、職場、家庭、地域などにおけるワーク・ライフ・バランスの取組事例や取組の 揮できる社会」、 アイデアを募集し、シンポジウムやホームページで紹介した。 「誰もが、家庭・ ·募集時期 平成22年9月~12月 地域・職場のあら · 応募件数 44件 ゆるところで、心 ③ワーク・ライフ・バランス推進モデル事業 豊かに暮らせる モデル企業を選定し、推進コンサルタント(社会保険労務士)を派遣して、課題分析、行 男女共同参画社 動計画の策定、実施のフォローなどの支援を行った。 会」 モデル企業: 社会福祉法人あゆみ会 あゆみ保育園〈倉吉市、福祉〉 医療法人社団FOLとみます外科プライマリーケアクリニック〈米子市、医療〉 イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 多くの県民にワーク・ライフ・バランス推進の意義、必要性等について周知し、 取組を促進するため、シンポジウムの集客や、ワーク・ライフ・バランス取組募集 について、企業、商工団体、労働団体、地域活動団体等で構成するシンポジウム実 行委員と協働して実施した。 ウ成果 シンポジウムの開催により県民のワーク・ライフ・バランス推進についての理解や関心を 高めるとともに、実践例・アイデアの紹介により、一人ひとりが実践について考える契機と することができた。 <シンポジウムアンケート結果> シンポジウムの評価 大変参考になった(78%)、やや参考になった(16%)、参考にならなかった(2%) ワーク・ライフ・バランスの取組に対する意識 是非取り組みたい(56%)、いずれは取り組みたい(12%)、 既に取り組んでいる (20%) 工課題 ・県民のワーク・ライフ・バランスについての理解は進んだものの、一人ひとりの実践に十分に 繋げられているとは言えない状況にあるため、より小さな単位で理解を深め、家庭や地域の実 情に即した取組へ繋げていく必要がある。

・企業におけるワーク・ライフ・バランスを推進していくためには、経営者の理解促進が重要で

あるため、企業トップや人事労務担当者への意識啓発を進めていく必要がある。

# 男女共同参画普及アー目的及び事業の実施状況 啓発事業

## 決算額

(財源内訳) 一般財源 4.678千円 国庫支出金 477千 円

# 〇将来ビジョン Ⅴ支え合う

(1) 一人ひとり の人権が尊重され 「それぞれの個 性と能力が発揮で きる社会」、「誰 もが、家庭・地域 職場のあらゆる ところで、心豊か に暮らせる男女共 同参画社会」

#### (ア)目的

男女共同参画を進めるための理解やリーダーとなる者を増やすための普及 啓発・人材育成を行う。

## 5,155千円 | (イ) 事業の実施状況

講座名	内容等
〈普及啓発〉	
共同参画時代の自分磨きセミナー	・今まであまり男女共同参画について学習する機会がなかった人たちが、興味を持って参加できるような場を作ることで、理解者の裾野拡大を図る。 ・回数:6回(直営3,委託3) ・参加者数:延べ357名
〈人材育成〉	
女性の相談にかかわる相 談員等のための基礎講 座	・女性の相談にかかわることの多い相談員等のうち、経験年数が浅い者を対象に、男女共同参画の視点に立って、よりよい相談・支援ができるよう資質向上を図る。・回数:3回(東部・中部・西部)・参加者数:延べ107名
まちを元気にする女性塾	・女性の視点や能力を生かした地域づくりを 推進するため、男女共同参画の取組が進み にくかった地域を対象に、その地域におけ る女性の実践力をつけ、リーダーを育成す る。(3団体に委託) ・対象地域:若桜町、倉吉市、日野郡 ・参加者数:延べ327名
県民企画による人材育成 協働事業	・民間の発想、専門性、経験、ネットワークを生かし、男女共同参画を推進することのできる多様な人材を養成する。(2団体に委託)・回数:7回 ・参加者数:延べ133名
(活動支援)	
活動支援事業	・県民が企画運営する活動に対して、支援する。 ①団体活動支援補助金 3事業 ②よりん彩活動支援(報償費、旅費、 会場使用料等の支援)…(公開講座、 研修支援講座、若者企画講座、話し の広場、企業セミナー 50件)

- イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点
  - ・男女共同参画を進めるための理解者の裾野拡大や人材育成に重点を置 くこととした。また、男女共同参画を推進する新たな団体等の育成を 目的に、主催事業の委託化を進めた。

#### 成

- ・男女共同参画についての理解者の裾野拡大を目的に様々な切り口で普 及啓発を行ったことにより、新たな関心層の掘り起こしにつながった。
- ・主催事業の委託化を進めたことにより、民間との協働、企画への多様 な人材の参画等を通じて新たな団体等が育成されつつある。
- ・活動支援事業を利用される団体等は、8割近くが新たなものであり、 着々と新たな団体の開拓が進んでいる。

#### エ 課

・参加者の固定化、事業によっては参加者が少ないといった状況がある ため、団体等との連携、広報の一層の工夫など、多くの県民に参加し ていただくための取組が必要である。

## 7 決算調書

(総括表)

(単位:円)

												(手口	[ : 円)
				予 算		額			支出済額	頃の内訳	翌年度	差引増減額	備考
区分	科目		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰 越 額	予 備 費 支出及び 流用増減	計 A	支出済額 B	本 庁	出納機関	ェー及 繰越額 C	A-B-C	1佣 考
	企画総務	費	61, 939, 000	0	0	0	61, 939, 000	53, 964, 056	11, 411, 473	42, 552, 583	0	7, 974, 944	
歳													
出													
	合情	†	61, 939, 000	0	0	0	61, 939, 000	53, 964, 056	11, 411, 473	42, 552, 583	0	7, 974, 944	
	雑入		135, 000	0	0	0	135, 000	132, 679	23, 245	109, 434	0	2, 321	
	総務費 国庫補助会	金	0	546, 000	0	0	546, 000	0	0	0	0	546, 000	
同上	民生費 委託金		0	0	0	0	0	477, 674	0	477, 674	0	△477, 674	
財源内	小言	†	135, 000	546, 000	0	0	681, 000	610, 353	23, 245	587, 108	0	70, 647	
訳	一般県費 充 当		61, 804, 000	△546, 000	0	0	61, 258, 000	53, 353, 703	11, 388, 228	41, 965, 475	0	7, 904, 297	
	合計	†	61, 939, 000	0	0	0	61, 939, 000	53, 964, 056	11, 411, 473	42, 552, 583	0	7, 974, 944	

注1 この調書は、一般会計、特別会計ごとに別葉として作成すること。

<sup>2</sup> この調書は、予算科目の目名で記載すること。

(単位:円)

	事	業	名	予	算	額	支	出	済	額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
	(企画	<b>国総</b> 務	務費 )		7, 4	75, 000		5	, 484	, 452	0	1, 990, 548	
ı,	男女扌	も同る	参画推										

進費

男女共同参画社会の実現のため、平成12年12月に制定された鳥取県男女共同参画推進条例に基づいて、関係機関と連携して総合的に男女共同参画行政を推進するため、次の施策 を実施した。

〇関係機関との連携

施策を総合的に実施するため、関係行政機関との連携を図った。

①鳥取県男女共同参画行政推進会議(7/14)

座長;副知事、部局長、教育長、病院事業管理者、警察本部長 (内容)

- 鳥取県の男女共同参画の推進状況
- ・第3次鳥取県男女共同参画計画の策定
- ②ワーク・ライフ・バランス庁内研究会 (3/11) ワーク・ライフ・バランス推進施策について、庁内関係部局等と連携して取組を進めた。 (内容)
- ・平成23年度の取組
- ・ワーク・ライフ・バランスに係る推進体制
- ③市町村との連携(4/23)
- ・担当課長会議を開催し、県と市町村それぞれの施策の説明及び意見交換を実施。
- ④国、都道府県との連携
- ・都道府県・政令指定都市男女共同参画主管課長会議(1/14、内閣府)
- ・島根県との情報交換会(8/27、島根県庁、男女共同参画センターあすてらす)
- 〇鳥取県男女共同参画審議会の設置・運営
  - 根拠;鳥取県男女共同参画推進条例
  - ・委員;20名(うち5名公募)(男性9名、女性11名)
  - ·任期; 2年(H21.12.10~H23.12.9)
  - 審議;第3次鳥取県男女共同参画計画の体系、内容等
  - 回数:全体会3回(7/6,8/31,3/14)

分科会×各3回(第1分科会10/18, 12/3, 1/18、第2分科会10/25, 11/24, 1/18)

事 業 名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(企画総務費) (主) 男女共同参画推 進企業認定事業	4, 549, 000	4, 523, 134	0	25, 866	
(企画総務費) (主) ワーク・ライフ・ バランス推進事 業	2, 834, 000	1, 403, 887	0	1, 430, 113	
(企画総務費) 男女共同参画センター事業	47, 081, 000	42, 552, 583	0		<ul> <li>○ センターの利用状況</li> <li>・施設利用者数 25,578人(前年度実績 23,705人)</li> <li>・図書等(雑誌、映像資料含む)蔵書数 12,684冊(前年度実績 11,382冊)貸出数 5,577冊(前年度実績 5,386冊)</li> <li>・相談件数 2,273件(前年度実績 2,775件)</li> <li>○男女共同参画推進員への申出・審査状況新規:1件継続:1件</li> </ul>
目計	61, 939, 000	53, 964, 056	0	7, 974, 944	
合 計	61, 939, 000	53, 964, 056	0	7, 974, 944	

- 9 予備費の充用調べ 該当なし
- 10 繰越関係調べ
  - (1)継続費逓次繰越調べ 該当なし
  - (2) 繰越明許費調べ 該当なし
  - (3)事故繰越調べ 該当なし
- 11 収入証紙取扱額調べ 該当なし
- 12 収入事務処理状況調べ
  - (1) 分担金及び負担金 該当なし
  - (2)使用料 該当なし
  - (3) 手数料 該当なし
  - (4) 財産収入 該当なし
  - (5) 寄付金 該当なし
  - (6)諸収入 該当なし
  - (7) 現金の取扱状況 該当なし

## (6)諸収入

(単位:円)

収目	入 科 節	田 細 節	件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
雑 入		非常勤職員雇用 保険料		23, 245	23, 245	0	0		
	計(	(節)		23, 245	23, 245	0	0		
	本庁執行分計(目	1)		23, 245	23, 245	0	0		
Ė	出納機関執行分計(	(目)		109, 434	109, 434	0	0		男女共同参画センタ 一
	目計			132, 679	132, 679	0	0		
	合 計			132, 679	132, 679	0	0		

- 13 税外収入未済額調べ 該当なし
- 14 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし
- 15 税外収入不納欠損額調べ 該当なし
- 16 債務負担行為の状況調べ 該当なし
- 17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ
- (1)負担金

(単位:円)

						\ <del>+</del>	·[보. 口/	
予算科目(目)	予算額	区分	負担金の名称	支 出 先	負率	(支出年月日) 支出金額	支出の根拠法令 名等(規約、要領 等を含む)	備考
(企画総務費) 支出額が10万円 未満のもの						50, 000		
本宁執行分計						50, 000		
出納機業城行分計						1, 986, 771		男女共同参画センター
目計						2, 036, 771		
合 計						2, 036, 771		

## (2)補助金

予算科目(企画総務費)

① 国 補 分 該当なし

② 単 県 分 (単位:円)

	•							\ I	<u> </u>
補助金等の名称		補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着 手 年月日	額の確定 年月日		支出の	状況	
	交付先間		交付申請	完了	検査				備考
(補助金の創設年度)			年月日	年月日		100/2021	支 出	金額	בי נאו
	13		-	<del>  十</del> 月口		概算払		立()	
****		補助率及び				精算払	年月日		
事業の内容		補助金額	交付決定	実績報告	審査・現地	の別			
			年月 日		調査年月日				
								0	
本庁執行分計									
								299, 817	男女共同参画
出納機関執行分計									センター
								299, 817	
単 県 分 計									
	1 「交付申請年	月日」及び「交	付決定年月日」	欄の()	書きは、変	更に係	るものの	当初の年月日	]である。
表の補足説明	2 翌年度繰越泵	うの期間・繰越事	業費を「備考	」欄に記載	ばする場合の	(	書きは	補助金相当額	である。

(2-2)補助金(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの) 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4)委託料

	77										\ <del></del>	124 . 1 1 /
予算科目		委託料の名称	委託契約の	当 予定価格	初契	約 契約	入札等 年月日	完了	支	出の	状 況	
(目)	国補単県		相手方	変更	(契約年月日) 契約額 契約(量	期間	・ 一刀 ロ (契約保証金納 付等年月日)	年月日	支出	支 出		備 考
	の別				(契約年月日) 契約額	契約期間	契約形態	履行検査 年 月 日	区分	年月日	金額	
企画総務費		ワーク・ライフ・ハ゛ラン ス 推 進 モ デ ル 企 業 コンサルティン		420, 000		H22. 8. 6 ~ H23. 3. 31	- (免除)	H23. 3. 28	概算	H22.8.30	420, 000	
		か委託料					随意契約	H23. 3. 29	戻入	H23. 4. 22	△360,000	
"	"	"		420, 000		H22. 8. 6 ~ H23. 3. 31	_ (免除)	H23. 3. 26	概算	H22.8.30	420, 000	
							随意契約	H23. 3. 29				
"	"	"		420,000		H22. 8. 6 ~ H23. 3. 31	_ (免除)	H23. 3. 24	概算	H22.8.30	420, 000	
							随意契約	H23. 3. 29				
予定価格が20万 円未満のもの		_	_	-	_	_	_	-	_	_	_	
本庁執行分計											900, 000	
出納機関執行分											2, 530, 610	
目計											3, 430, 610	
合 計											3, 430, 610	

(単位:円)

(4-2)委託料(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの) 該当なし

18 工事請負費調べ 該当なし

18-2 工事請負費調べ(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの) 該当なし

## 19 財産に関する調べ

(1)公有財産 該当なし

### (2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成23年3月31日現在)

									1 /20 - 0 / 1 0	' H 50
1.5	Ed.	*		本	年	度	中			144 <del>4.</del>
種	別	前年度末	購	入	額	使	用	額	本年度末	備考
郵便切手及び郵	便はがき	85, 940円	3	37, 5 <sup>-</sup>	70円	4	17, 41	10円	76, 100円	
収入印紙		0円			0円			0円	0円	
収入証紙		0円			0円			0円	0円	
タクシークーポ	ン券	0円			0円			0円	0円	
鉄道バスプリペ	ードカード	0円			0円			0円	0円	
合	計	85,940円	3	37, 5°	70円	4	1 <b>7, 4</b> 1	10円	76, 100円	

- 注1 本庁分について記載すること。
  - 2 鳥取県物品事務取扱規則第3条第2項第3号に規定する金券類について記載すること。
  - 3 鳥取県物品事務取扱規則の運用方針及び留意事項第17条関係の3の区分により記載すること。

## イ タクシーチケットの受払状況

(平成23年3月31日現在)

前年度末未使用枚数			本		年	度	中		本年度末未使用枚数
	購	入:	枚	数		使月	用枚数及	び金額	
6 8 枚					0 枚			7 枚	6 1 枚
							43,	790円	

注 上記アに同じ。

- (3)基 金 該当なし
- (4)債権 該当なし
- 20 財産の貸付け及び使用許可調べ
  - (1)土地及び建物 該当なし
- (2)物品(1品の取得価格が100万円以上のもの) 該当なし
- 2 1 借受不動産明細調べ 該当なし
- 22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ
- (1)職員住宅 該当なし
- (2)職員駐車場 該当なし
- 23 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ 該当なし
- 2.4 寄附物件の受納状況調べ 該当なし
- 2.5 備品の処分状況調べ 該当なし
- 26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし
- 27 貸付金等状況調べ 該当なし
- 〇意見、要望等
- (1)業務に関する意見・要望等 なし
- (2) 監査委員事務局に対する要望等 なし